

第2回新潟勤労者総合福祉センター指定管理者申請者評価会議 議事録

日 時：令和5年9月29（金） 午後1時30分～

会 場：新潟市役所ふるまち庁舎4階 402会議室

評価委員：佐藤委員、小林委員、高橋委員、上杉委員

事務局：雇用・新潟暮らし推進課長、同課課長補佐、同課係長、他2名

傍聴者：0名

新潟勤労者総合福祉センター指定管理者申請者会議：公益財団法人新潟市開発公社

プレゼンテーション・質疑応答

発言者	内 容
事務局	<p>これより、新潟勤労者総合福祉センター指定管理者申請者評価会議を開催いたします。まず、簡単に施設についてご説明いたします。当施設は平成6年に開館し、1500人が収容できるホールのほか、会議室・研修室等を備えており勤労者をはじめとする市民の教養・文化及び福祉の向上、並びに健康の増進を図るための施設です。</p> <p>この度、今年度末をもって現在の指定管理期間が終了するため、公募で令和6年度から5年間の次期指定管理者を選定する必要があり、本会議では指定管理者の選定や評価について外部委員の皆様からご意見をいただきます。その意見を参考に、本市として指定管理者の選定を行うこととなります。</p> <p>本日は1事業者から15分以内のプレゼンテーションと、委員による15分程度のヒアリングを行い、その後、委員の皆様から評価をしていただきます。傍聴については事業者のプレゼンテーション及びヒアリングまでが公開となっております。</p> <p>次に、候補者の評価方法については、資料1-1指定管理者選定基準評価項目に基づいて行います。なお、会議の内容を記録するため録音させていただきますので、ご了承ください。</p> <p>それではプレゼンテーションに移ります。プレゼンテーションは15分以内でお願いいたします。終了1分前になりましたらチャイムを1回、終了時間になりましたらチャイムを2回鳴らします。チャイムが2回鳴りましたら速やかに終了してください。それでは準備はよろしいでしょうか。</p> <p>(申請者) はい。</p> <p>それではお願いいたします。</p>
	<p>公益財団法人新潟市開発公社 プレゼンテーション (省略)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それではこれよりヒアリングを行います。申請者様は質問に対し、簡潔にお答えください。ただ今の説明につきまして、委員の皆様からのご質問はございませんでしょうか。</p>
上杉委員	<p>施設の利用を最大限に活用するという点で、これまで29年間やってこられたということですが、稼働率のアップ・自主事業の内容について、これまでと違った新しい提案はありますか。</p>

申請者	<p>まずはコロナ禍でございましたので、そこで自主事業に関しましても計画していた自主事業が施設の休館などにより開催出来なかったことがございました。その辺りを踏まえまして、まずは今コロナ禍から明けてくるところでございますので、そこにめがけて戻していこうというところで、新しい事業というものは実際ないというのが現状ではあります。</p>
上杉委員	<p>これまでやってきたものを、ブラッシュアップしてきたというところで、継続して展開していくということでしょうか。</p>
申請者	<p>フィットネスセンターで行っているプログラムの内容については、その都度お客様の反応をみながら変えるというのは毎年しております。</p>
上杉委員	<p>わかりました。もう1点ですが、会計の内容を見ますと備品費が100万計上してあります。テルサにおいてはフィットネスホールを設置しています。ああいった大型マシンだとかの破損の修理が起きた場合に、そういった部分を考えてこの100万という計上ですか。</p>
申請者	<p>今施設の再編ですとか、そういった関係もございまして、なかなか新たな備品・お客様のサービス向上のために何かしら新たなものを備品として用意するというのは難しいのが現状でございます。今まで利用していただいていた備品が破損もしくは入れ替えが必要になったときに、こちらの備品費で入れ替えの品を買わせていただくというように考えております。修理につきましても、トレーニングルームのマシンも修繕を今までに繰り返してきたところでございますので、同じくなるべく長く使えるように施設の修繕をして使わせていただきたいという様に考えております。</p>
上杉委員	<p>最後3つ目ですが、経費の削減の具体的な取り組みということで、ここに書いてあるような、ほとんどが光熱水費という形で事務費ということですがけれども、特段これまでにそういった活動以外に、大きく節減していくような新たな発想展開はお考えがありますか。</p>
申請者	<p>色々な環境に対する対策を進めていきたいと。カーテンを閉めるとか、そういった経費削減に繋がるような動きをさらに強化していきながら、経費の削減に努めていきたいと思っております。ただ、コロナ禍から明けてきたというところもございまして、段々と利用状況が回復しつつありますので、利用が多くなると光熱費使用料の料金が増えていくというところは、どうしても出るのかなと思いますけれども、その辺りは努力していきたいと思っております。</p>
上杉委員	<p>例えば人件費の削減であるとか、そういった視点っていうのはありますか。</p>
申請者	<p>やはり利用状況に応じまして、開館しているときに配置する人数を適切に調整しています。あと9時からご利用のお客様が1時間早く入りたいという様な場合にも単純に超過勤務として人件費を増やすのではなく、スライド勤務というような形で時間の調整で経費もなるべくかけないような形で、進めていきたいと考えております。</p>
上杉委員	<p>開館時間とか、そういったサービスの時間帯を縮めるとか、そういった部分の縮減はお考えがありますか。</p>
申請者	<p>そこは私どもが決められない部分、条例で謳われている部分なので、ご相談しながらにはなるかなという感じはするのですが、いかんせんお客様も夜遅くまでずっと入っていらっしゃるの、なかなか縮めるのも難しいところです。</p>
上杉委員	<p>削減に向けて、お金が無いところでなんとか企業さん頑張っていくというところで、良いアイデアがあればいいかなと思って、ちょっと色々聞かせていただきました。どうも</p>

	<p>ありがとうございました。</p>
小林委員	<p>まず障がい者雇用のところですけども、法定雇用率の達成を目指してとありましたが、中の資料を拝見させていただくと現在正職員が 92 名で臨時・パートで 306 名のところ、民間の法定雇用率が適用されると思いますが、テルサのところだけで達成する必要はないと思うのですが、全体として現在達成できているのか、できていないのか。できていないのであれば例えば来年の春は雇用率上がりますが、そういった見込みがどのような形になっているのか教えてください。</p>
申請者	<p>来年、それから 2026 年 7 月に、さらに率が上がっていくというところで、現状を申し上げますと令和 3 年度までが雇用率が上回る形でおりました。ただ 3 年度の末に重度障害の方 2 名が退職となりまして、令和 4 年度につきましては達成できておりません。こちらにも記載させていただきました通り、障がい者雇用につきましては障がい者就労生活支援センター様ですとか、そういったところから障がい者の就労トライアルというものを、以前も体育施設にはなりますけれども、東総合スポーツセンターと黒埼地区総合体育館、こちらでトライアル、1 名ずつですけども 2 名受け入れまして、そのうち 1 名を東総合スポーツセンターで勤務していただいたという実績もございますので、その辺りも含めまして、今後そういったトライアルなどを関係機関の皆様からご協力を得ながら、達成できるように努めていきたいと会社全体として考えております。</p>
小林委員	<p>なかなか障がいを持たれている方の雇用とか、採用する側も人材が見つからないと、取り合いになっているという話を聞くので、ぜひ採用できるようにまた頑張ってください。</p> <p>それからコストの縮減の関係ですが、プレゼンを聞いている中で言えば、外部に受託をお願いしている事業の期間を見直しながら、それで単価を下げるような話も少しされていたような、受託契約をされているように記憶しています。一方で、非常に物価が上がっているじゃないですか。是非そういうところは今後ご注意くださいと思っています。どうしても私たち労働組合の団体なので、働いている人の賃金とか、必ずそういったところにも皺寄せというか様々なことが起こる可能性がありますので、そこまで見ていただくと非常に私どもからすると嬉しいところです。</p> <p>それでいうと、働いていらっしゃる方々のモチベーションを上げるための方策。先ほどだと人材育成、これもひとつモチベーションを上げるための一つの方策かなと思いますが、例えば処遇面で、給与とか色々ほかにも制度が両立しているのも含めてやられているということで理解をしましたが、何か特徴的なものがあれば、もしあるのであれば教えてください。</p>
申請者	<p>職員表彰制度は設けております。年に 1 度職員を表彰して労うという形のもはございます。あとは先ほどからコロナ禍とずっと申し上げますけども、コロナ禍に入る前まではそれぞれの所属毎に職員が集まってみんなで士気を高めるような会を開催したりとかという事は行っておりました。コロナ明けて仕事が順調に進められるようになってきたら、それも復活できるのかなと思います。</p>
小林委員	<p>皆さんの職場のことばかり言って申し訳ないのですが、直接テルサとは関係ないかもしれないですけど、よく私たちのところに相談に来るのが、最近はまだコロナ禍以降は特にハラスメントの相談が多いです。この資料を見ると皆さんのそういう責任者を置くとか、担当が総務と組むとかが書いてありますが、内部通報制度だとか色々あるじゃないですか。実態として、皆さんのところにはそういった問題が無ければいいのですが、万が一</p>

	<p>に備えてハラスメント、職員の通報制度というようなものはあるのか、現状どのようになっているのかなというのを教えていただければと思います。</p>
申請者	<p>施設ごとに、まず1人ずつハラスメントに対する相談窓口になる人間を設けています。それを取りまとめて総務課が相談を受け付けていますが、直接総務課に話しても良いし、別の施設の信頼できる人に話しても良いしという形になっているので、全社一丸となってといたしますか、ハラスメントの対応には当たっています。</p>
小林委員	<p>あと市と連携して、中で言いにくいことは市のほうに直接言っても良いよというのはひとつあったほうが良いかなと思います。300人以上の規模であれば、そういったのがあっても、中だけではなかなか言いづらいという人もいるので、参考にいただければと思います。</p>
申請者	<p>ありがとうございます。</p>
高橋委員	<p>3つご質問をさせていただきます。</p> <p>1点目は経営理念に関することですが、目標の中にありましたテルサの意向と合っているよという様なことで、教養・文化及び福祉の向上というお話がありましたが、ご提出いただいている申請書のほうの令和5年度の事業計画とあって、その過去のを拝見していると、公益目的事業としては基本的に健康増進・スポーツ振興とありますが、教養文化というところを、どこで開発公社さんとして捉えて、組織として全体としてどういう風にご理解を進めてらっしゃるのかなということが1点です。</p> <p>もう1点が事業計画書の10ページにある公益社団法人文化施設協会の加盟というところご記載がありますが、こちら加盟することによって期待すること、効果はどういう風なものを見込まれて加盟を検討されているのか、というところをお伺いしたいというのが2点目です。</p> <p>3点目ですが、自主事業に関する内容で、14ページにホールを利用した事業として2点ですね、令和6年分公演予定が記載されていますが、この2つを選ばれている理由というのも記載のとおりと理解しましたが、例えば貸館の事業でファミリー向けの公演が少ないから、この公演を2つ選んでいるとか、逆にやっぱりここはお客さんが入るから収益的なことを見込んでこの2つを選んでいるといったところを、これを選ばれた理由と、またそれ以外に新しいジャンルの公演の可能性を検討していきたいということですが、そこをどういう風に展開されていくお考えなのか。全部合わせた視点でも構いませんのでお願いします。</p>
申請者	<p>まず教養・文化につきましては、私どもの文化講座6年の予定としてはプログラムとしてフィットネスセンターだけを載せていますが、以前は語学の教室などもございました。ただ施設の中で会議室を使わせていただいて開催していますが、そちらの会議室使用の経費がかかることもありますし、会議室の稼働率が夕方夜間においても高くなってきておまして、一般の使いたい方が使えない状況というのが増えてきたので、今年はそのところを控えてやってみようかなということで、プログラムからは外しております。文化教養の部分が弱い感じがするかもしれませんが、フィットネスセンターで行っている教室の中で、例えばフラダンスにつきましては、フラの踊りだけではなくてハワイの文化なども取り入れながら、言葉ですとかも学びながら習っていただくように先生に協力していただいて開催しているので、新潟の文化ができれば本当はもっと良いのかなと思っています。</p> <p>公益文化施設協会に加入ですが、そこに加入することで、色々と県外を含めた情報を</p>

	<p>得ることが出来ます。今こういう状況で、例えばコロナ禍であれば、コロナ禍でこういうものに困っていませんか。そういう場合にはこういうような情報がありますのでご活用くださいですか、そのような情報をまず頂けるというのが一番大きいところかなというふうに思います。やはり新潟で同じような施設といいますとそこまで多くはないものですから、色々とそういったホールの情報を得るためには必要だと考えております。定期的に会議も開催されていまして、新潟県の公立文化施設協議会のほうでは、県の施設沢山ありますけれども、そちらが集まって会議をしておりますので、身近なところの問題を共有し合うということで、有難いなと思って参加させていただいております。</p> <p>最後にプリキュアショーと仮面ライダーにつきましてですけれども、こちらのホール、まず新潟市の施設としてはりゅーとぴあですか、あと県の施設になるかもしれないですが県民会館がございますけれども、新潟テルサのホールの特徴といたしましては色々と多用途で利用が出来る。コンサートであればコンサートだけというのではなくて、色々な集会から、そういったお子様たちの集まりから発表会から、色んな用途でご利用いただけるという、そこが魅力の施設でありますけれども、やはり小さいお子様から楽しんでいただける魅力ある事業を展開する・したいというのが、まずひとつ大きな理由にはなっております。それをもって収益を、というのが私どもとしては考えておりません。今後の展開ですけれども、やはりこの2つの事業につきましても、ターゲットとしてはどうしても小さいお子様たちが中心のものにはなっておりますので、今後これから令和6年度からの5年間につきましては、また色々な関係機関と協力させていただきながら、可能なものは主催事業として開催をしていきたいというふうに考えております。そういった興行ものに限らず、色々と発表会ですとかそういったものでもご利用いただいているものなので、何かに拘らずに色々と可能性を考えながら進めていきたいと考えております。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>個人的には、長年やっていらっしゃるだけあって、しっかりした取り組みをされているなど感じております。私の方からは簡単に2点だけお伺いしたいと思います。</p> <p>1つが事業促進に向けた取り組みですが、リピート利用の重要性というようなことをお話されてらっしゃいましたが、リピーターの囲い込みっていいですかですね、再利用に向けて何か具体的にやってらっしゃること、例えば回数券を発行しているとか色々あるかもしれませんが、こういった取り組みをされているのかというのを1つ。</p> <p>もう1つで、不特定多数の方が沢山いらっしゃるので安全確保の問いになりますが、避難訓練ですね。消防法で定められていると思いますが、避難訓練をどのような形でやってらっしゃるかというのを教えていただけたらと思います。以上になります。</p>
<p>申請者</p>	<p>利用促進でリピート利用についての取り組みということですが、私ども回数券とか割引券のようなものを発行することができないものですから、そういう具体的な何かをして差し上げるということは出来ておりません。ただリピーターの方、私どものほうだと毎週使う方・毎月何度も使う方・年に1回毎年使ってください方という感じで、期間の幅はそれぞれになっていきますけれども、そのお客様が使われたデータを必ず残して、次の利用の時に、この間どういうふうに使ったっけ？と仰られたときに、すぐお答えできるようにしておりますので、その辺で使い心地は良いと考えていただいてリピートに繋がっていると思います。今後もそれを続けていく予定です。</p> <p>安全確保の関係で、消防訓練なのですけれども年に2回開催しております、特に春に開催するものに関しましては、新任の職員・人事異動で来た職員も、必ず出るような形</p>

	で、実際にそぐうような形で、開催をしているような形にはなっています。
佐藤委員	やっぱりお客様の誘導って大事だと思いますが、それってどういった感じでやっていらっしゃるんですか。
申請者	現実的にお客様に参加していただいていたの避難誘導訓練とか、そういったものは出来ていないのが現状ではございます。その辺りは想定訓練ということにもなりますけれども、今ほど申し上げましたのが、全体に係る部分でございまして、それ以外に1500席入るホールがございまして、こちらにつきましては舞台担当を含め訓練するとともに、実際にその催しがあるときに主催者様にご協力いただくような形で避難誘導訓練に当たりますけれども、開催する前にその避難誘導にあたる方達を集めてのどういう形で避難誘導にあたってください協力してくださいという様な打ち合わせを必ずするという事です。
佐藤委員	ありがとうございました。
事務局	ほかにございませんでしょうか。皆様よろしいでしょうか。 それでは以上で申請者様のプレゼンテーション・ヒアリングを終わります。ありがとうございました。 本日の評価会議の選定結果につきましては、後日ホームページにて公表いたします。それでは申請者様には、ここで退席させていただきます。どうもありがとうございました。